

図書館ニュース



令和2年度 2月号

発行 古川高校図書館
担当 1-5, 1-6

※著作権法に則り、一部画像を省略しております。ご了承ください。

図書委員のおすすめ本

『キノの旅』 時雨沢 恵一

この作品は、人間キノと言葉を話す二輪車エルメスの旅の話が短編形式で集られています。キノはエルメスに乗り、様々な国を旅していく中で、その国がどのような国なのか、どのような歴史を辿ってきたのかが語られていきます。キノはなぜ旅を続けるのか？キノが旅をするきっかけとなった物語も作中に登場し、読み進めていくうちに、まるで自分自身が旅をしているかのような心地がします。キノの旅 - the beautiful world - ぜひ読んでみてください。

『クラスメイト 前期/後期』 森 絵都

北見第二中学校/年A組で起きる様々な出来事を24人それぞれの視点から描いた短編集です。1人1人の視点からクラスを見ることができるので読み進めるほどクラスの雰囲気を深く、より近くに感じることが出来ます。

『名探偵の掟』 東野圭吾

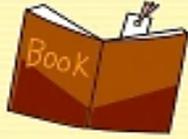
これはミステリの東事情を痛快に映した話です。探偵である主役が謎解きしやすいよう、脇役が一早く真相にたどり着き、科学的に調直し、それとなくヒントを主役に流したり、主役を引立てる子ためはすれなことをしたり、爆笑必至です。その中学校で読むのは危険です。

『金喰いビスコ』 窪久保慎司

防衛兵器の暴走によって文明が崩壊した未来の日本を舞台に、「キコ守り」の青年の活躍を描くライトノベル作品です。物語の始まりから主人公が指名手配されているということが、普通の小説には無いポイントです。

多読賞

3年生



1年間（R2年4月～R3年2月）の貸出数が学年で最も多かった方々を発表します。

★第1位の方には賞状と図書カードが贈られます。

★1, 2年生の多読賞は3月の図書館ニュースにて発表します。

※ 表彰者は配布用の方で紹介いたしました。



（あなたが本屋さんならどれに1票入れる!?）

本屋大賞/ミネート本 読んでみませんか？

本屋大賞とは、「本のプロ」である本屋さんが一番売りたい、みんなに薦めたいと思う本を投票で決めるものです。今年はこの10冊の中から選ばれます。ノミネート作品を読んで、大賞を“予測”してみませんか？

*本屋大賞は4月14日に発表されます。

『犬がいた
季節』

18歳の恋、決意、出発を描く。

『オルタネート』

SNS時代の高校生は何を選び、何を信じるのかー

『お探し物は
図書室まで』

本を通して見つけたものは？前へ踏み出したくなる一冊。

『逆ソクラテス』

逆境がなんだ。僕には僕の闘いかたがある。ユーモアと知恵で超えていけ！

『推し、
燃ゆ』

芥川賞も受賞。「押し(一押し芸能人)」が炎上した。ファンを殴つたらしい。この事件は、主人公あかりの生活や精神にジワジワと影響を与えていく…。

書名	著者名
犬がいた季節	伊吹有喜
お探し物は図書室まで	青山美智子
推し、燃ゆ	宇佐見りん
オルタネート	加藤シゲアキ
逆ソクラテス	伊坂幸太郎
この本を盗む者は	深緑野分
52 ヘルツのクジラたち	町田そのこ
自転しながら公転する	山本文緒
八月の銀の雪	伊与原新
滅びの前のシャングリラ	凧良ゆう

新着図書案内

分類	書名	著者名	出版社など	出版年
文学	心淋し川 *直木賞受賞	西條奈加	集英社	2020
歴史	テーマ別だから理解が深まる日本史	山岸良二/監修	朝日新聞出版	2018
社会	13歳からの日本外交 それって関係あるの!?	孫崎享	かもがわ出版	2019
	いじめのある世界に生きる君たちへ	中井久夫	中央公論新社	2016
	SDGs 危機の時代の羅針盤	南博・稲葉雅紀	岩波書店	2020
科学	iPS細胞の研究室	紀谷昌彦	日本評論社	2019
技術	図解まるわかり5Gのしくみ	飯盛英二 ほか	翔泳社	2020
家庭	英語でガイド!外国人がいちばん食べたい和食90選	片山晶子	Jリサーチ出版	2020
スポーツ	基礎から学ぶスポーツテーピング	高橋仁	ベースボールマガジン	2019

…その他、下記の書籍 etc

表紙

『キノの旅』23巻
時雨沢恵一/著

人気シリーズの最新刊! 喋る愛車(二輪車)と旅をするキノが今回訪れる国は…。今回はシリーズの20周年に当たるそうです。アニバーサリー企画も隠されている!?

表紙

『自宅学習の強化書』
葉一/著

テスト対策、計画の立て方、勉強を習慣化する方法など、自宅学習のコツを丁寧に紹介。「教わる」から「学ぶ」へ変えてみませんか。

表紙

『ブラックウェルにあこがれて』
南杏子/著

医学部の女性がぶつかる差別問題テーマに、現役女性医師が描いた小説。医大の実習で知り合った4人の女性たちが医師となり、真摯に医療の道を進む姿を描く。(ブラックウェル:世界で初めて公的に医師と認められた女性)

表紙

『なぜ、読解力が必要なのか』
池上彰/著

読解力を伸ばすことは、自分で正しい答えを見つける力につながる。では、どうすればそれを身につけることができるのか。皆さんが今学んでいる、高校の国語教科書や数学の大切さを見直すきっかけとなる情報も紹介されています。

表紙

『最新日本の外来生物』
自然環境研究センター/著

外来生物の最新データや事例を掲載。近年話題となったヌートリアやヒアリはもちろん、「え、この生物も外来種!?’というものも載っています。

表紙

『一冊でわかるフランス史』
福井憲彦/監修

ガリア、百年戦争、フランス革命そしてナポレオン登場…フランス通史の入門書。コラム「そのころ、日本では?」も役立ちます。

3.11の記憶を未来につなぐ一冊

「東日本大震災から10年目の今に読んでほしい本」を、大崎市内にある高校の学校司書さんたちと選びました。あの時何があったのか、そして未来に向けて今できることは何かを考えながら読んでもらいたい本です。

*「図書館教育ニュース」(少年写真新聞社)でも紹介されました。

小説・物語で描く震災

表紙

表紙

表紙

『この川の向こうに君がいる』 濱野京子

被災者であることを隠して高校生活を送る梨乃は、原発被災者であることを公にする遼と出会って…。

『希望の地図』 重松清

『フラダン』 古内一絵

震災から5年。「フラダンスでみんなを元気に!」と張り切るメンバーが直面した被災地の現実とは…。

一人ひとりの3.11

表紙

表紙

表紙

『石巻赤十字病院の100日』 石巻赤十字病院、由井りょう子
石巻赤十字病院が体験した死闘の100日間を追うノンフィクション。

『孤塁 双葉消防士たちの3・11』 吉田千亜

原発が爆発する中、避難誘導にあたった消防士たちの苦難と葛藤が初めて語られた。渾身のノンフィクション。

『アニメ版釜石の“奇跡” いのちを守る授業』

NHKスペシャル取材班

語り継ぐ…未来に向けて

表紙

表紙

表紙

『16歳の語り部』 雁部那由多、津田穂乃果、相澤朱音

あの日小学5年生だった子どもたちが高校生となった今、伝えたいこととは。同世代の当事者の声に耳を傾けて。

『福島のお母さん、聞かせて、その小さな声を』 棚澤明子

放射能による差別、子どもの健康、風評被害…ずっと語られなかった小さな声に真実がある。置き去りにしないために…。

『ワタノハスマイル』 犬飼とも、ワタノハキッズ

絵本で広い世代に届けたい

表紙

表紙

表紙

『かぜのでんわ』 いもとようこ

大切な人を亡くした者たちが訪れ、語りかける電話。岩手県大槌の実話からうまれた物語。

『ひまわりのおか』 ひまわりをうえた八人のお母さん、葉方丹

津波で子どもたちの命を奪われた大川小の母たちが子どもたちに語りかける。

『大津波のあとの生きものたち』 永幡嘉之

災害について考えよう

表紙

表紙

表紙

『防災イツモマニュアル』 防災イツモプロジェクト

いざという時困らないために、「イツモ」できる備えと、知って役立つ知識を紹介する。

『絵でわかる地震の科学』 井出哲

『せまりくる「天災」とどう向きあうか』 鎌田浩毅

